

サケ稚魚放流情報 No.2



平成 30 年 3 月 13 日
岩手県水産技術センター
漁業資源部
TEL: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7920

県内5カ所の湾内の表面水温は5～7℃台で、平年並～1℃程度低め、前年並～3℃低めとなっており、最低水温期に入っています。

動物プランクトン沈殿量は、例年よりもきわめて少なくなっており、餌料環境が好転するまでは、飼育池での適正管理を行い、十分に成長させた稚魚を放流するよう努めてください。なお、飼育密度が超過する場合は、調整放流等を適宜行ってください。

1 漁業指導調査船「北上丸」の調査結果

(1) 表面水温 (°C)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/8、9)	5.1	5.8	5.6	7.1	6.7
平年*	6.1	5.5	5.3	5.9	6.7
前年同期	8.1	8.1	8.3	7.9	7.3

各湾ともに最低水温期に入り、平年並～1℃程度低め（越喜来湾は1℃高め）、前年並～3℃低めとなっています。

(2) 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直 20m 曳き、ml/m³)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(3/8、9)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.14
平年*	0.51	0.35	0.39	0.29	0.56
前年同期	0.99	2.36	0.65	0.57	1.03

沈殿量は、平年および前年と比べてきわめて少なくなっています。

2 山田湾における水温・塩分・動物プランクトン連続モニタリング結果**

- (1) 氷場及び沖の沢漁場において、音響機器（プロファイラー）で連続観測を実施しています。
- (2) 平成 30 年 3 月 12 日現在、氷場漁場は水温 5.6℃、塩分 32.61、沖の沢漁場は水温 6.2℃、塩分 33.54 となっており（図 2）、低温・低塩分水の分布が認められています。また、図示していませんが、プランクトン密度は氷場漁場で上昇、沖の沢漁場で低いまま推移しています。
- (3) 3月上旬の解析結果によると、山田湾の水温は、3月下旬が平年よりやや高め（6.56℃、ばらつき 6.42～6.71℃）、4月上旬も平年よりやや高め（6.99℃、ばらつき 6.84～7.18℃）と予測されています。

3 その他

いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

*平年は過去 13～15 年間の同期の平均値。

**先端技術展開事業「天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究委託事業」による研究成果（モデル海域：山田湾）

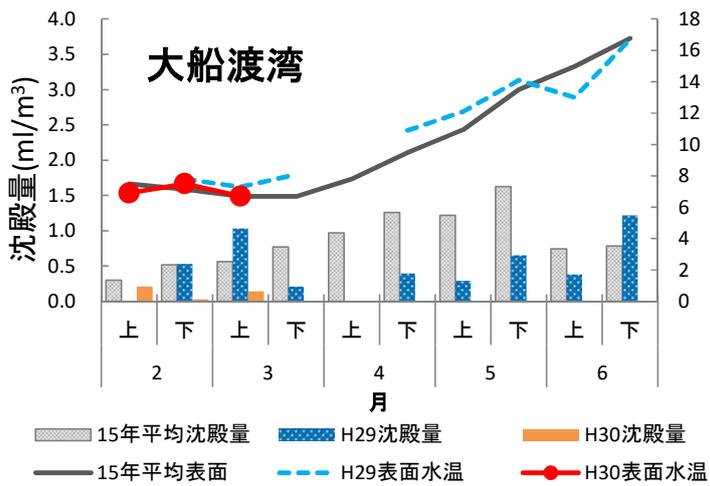
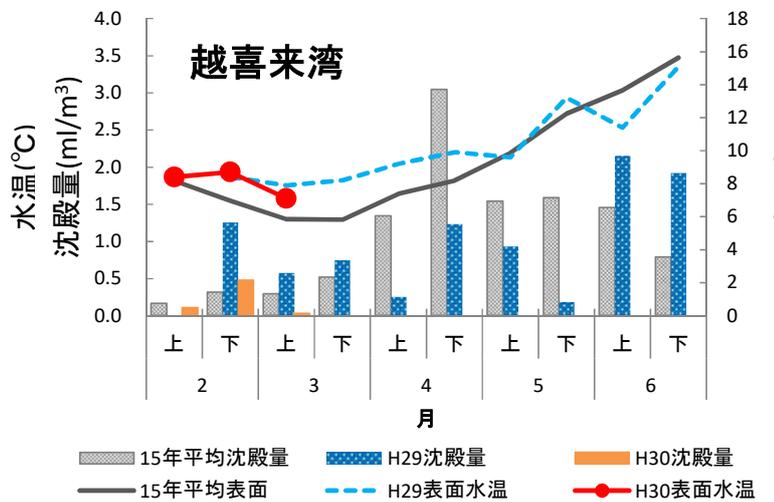
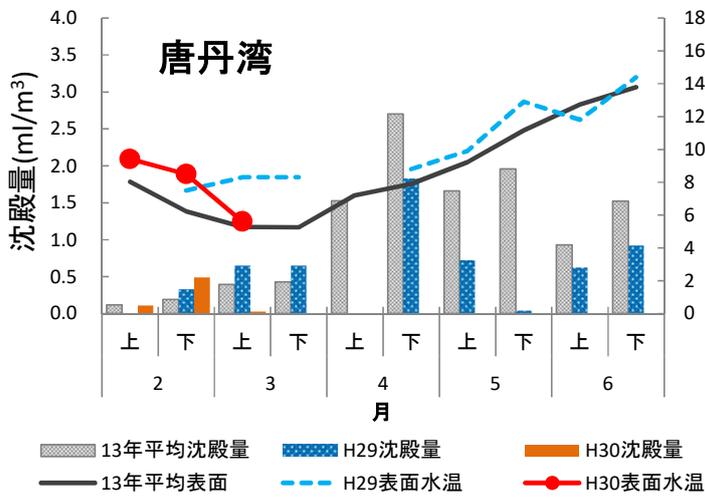
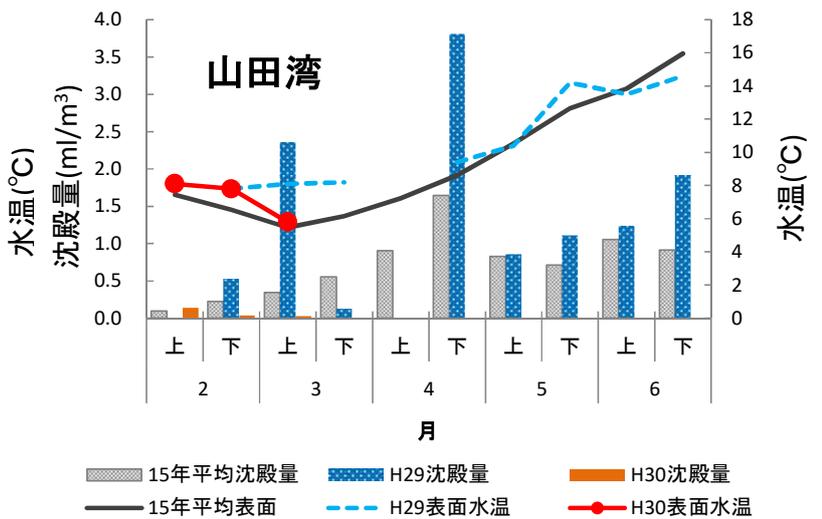
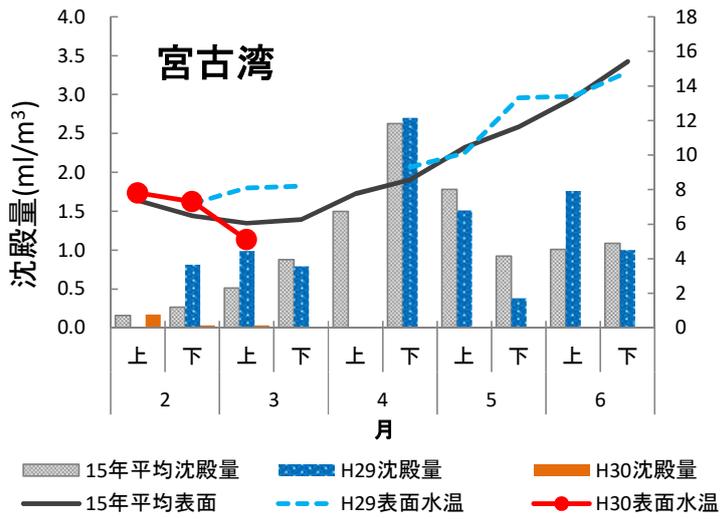
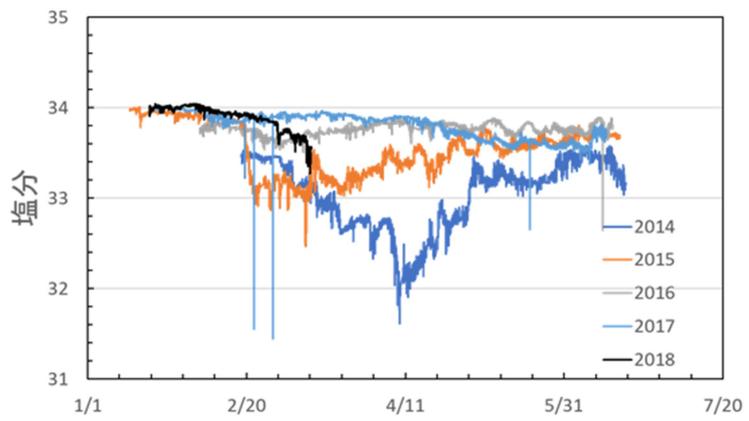
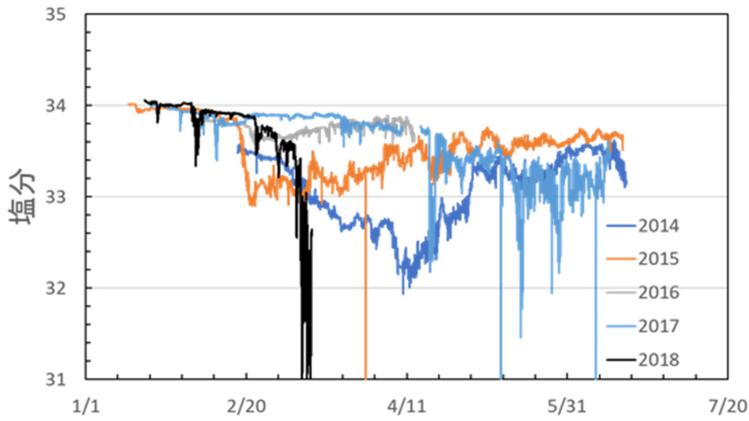
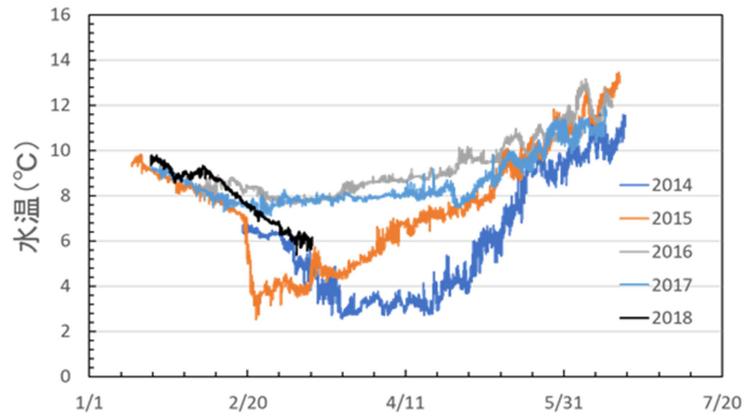
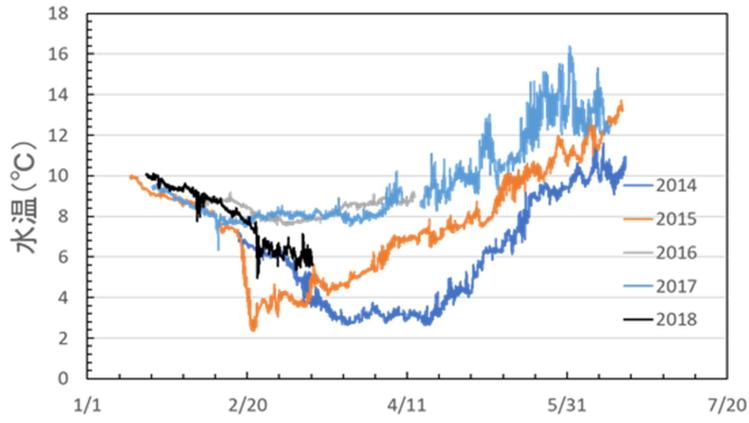


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化



氷場漁場

2014-2016年：センサー深度 13-18m
 2017, 2018年：センサー深度 2 m

沖の沢漁場

2014-2017年：センサー深度 15-20 m
 2018年：センサー深度 20 m

図2 山田湾における水温・塩分の日変化（平成30年3月12日現在）